



令和2年1月21日

各位

会社名 イワブチ株式会社
代表者名 代表取締役社長 内田秀吾
(JASDAQコード番号 5983)
問合せ先 常務取締役管理本部長兼総務部長 遠藤雅道
(TEL. 047-368-2222)

連結業績予想の修正および個別業績予想に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、下記のとおり令和元年9月24日に公表した連結業績予想を修正するとともに、個別業績予想については公表しておりませんでした。前期実績と比較して、その差異が適時開示の基準に達する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 令和2年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,709	181	269	406	377.93
今回修正予想 (B)	9,743	494	596	689	641.36
増減額 (B-A)	34	313	327	283	
増減率 (%)	0.4	172.9	121.6	69.7	
(ご参考) 前期実績 (平成31年3月期)	9,863	180	282	146	136.41

2. 令和2年3月期通期個別業績予想数値（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	9,013	246	342	234	218.58
今回予想 (B)	9,035	444	548	641	596.67
増減額 (B-A)	22	198	206	407	
増減率 (%)	0.2	80.5	60.2	173.9	

3. 修正の理由

(1)通期連結業績予想

売上高は、ほぼ前回予想どおりとなる見込みです。営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益は、各部門の事業活動プロセスを見直し、業務改善・プロセス改革活動を推進した結果などにより、売上原価率が改善し、また、販売費及び一般管理費も低減したことにより、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

(2)通期個別業績予想（前期実績との差異）

売上高は、ほぼ前期実績どおりとなる見込みです。営業利益および経常利益は、連結業績予想と同様の理由により、前期実績を上回る見込みとなりました。当期純利益は、前述の理由に加え、土地の譲渡による特別利益により、前期実績を上回る見込みとなりました。

なお、当該特別利益は、連結業績予想の前回発表予想に含めております。

※上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上